

環境省選定『重要湿地』in 北九州

VOL.3

北九州市内に6か所ある環境省選定の重要湿地のうち半数は小倉南区に集中しています。今回はこのうち平尾台周辺に存在する「お糸池」と「広谷湿原」をご紹介します。

実物の

ガシャモクが見てみたい!

どんな水草なのか気になった!!

そんな時は...ここへ観察に行こう。

『ガシャモク資料館』はお糸池のほとりに建つ手作りログハウス。開館は6月~11月の毎月第二日曜(10時~15時)のみ。夏休み期間中など、ガシャモク観察会も不定期に開催されているので、市政だよりをチェック!



ここがすごいぞ!

『お糸池』

- ①環境省レッドデータリストで絶滅危惧IA類に指定の水草「ガシャモク」自生地
- ②国内唯一の現存する自然個体群の自生地(だった)
- ③大人も子どもも地域みんなが協力して「地元の宝」として保全活動をしている

平尾台からの伏流水が流れ込むこのきれいな溜池には多年生の沈水植物ガシャモク(ヒルムシロ科)が生育しています。

国内では千葉県の印旛沼や手賀沼、滋賀県の琵琶湖などで過去に大群落が確認されていましたが、水質汚濁によりこれらの生育地では消失しました。手賀沼では埋土種子から発芽した株を使用し再生の努力が続けられています。昨年は青森県つがる市のある湖沼で国内2例目となる自生地が発見され大きなニュースになりました。

そんな希少水草がここに生育しています。ガシャモク再生の会、地元自治会、市丸小学校、小倉南区役所など複数の関係団体で協議会を結成し、地域一丸となって環境の整備や池干し、研究、保全や普及活動を行っています。



ここがすごいぞ!

『広谷湿原(平尾台カルスト内)』



- ①カルスト台地に湿原があるのは日本で唯一ここだけ!世界的にも稀な存在
- ②希少な湿性植物の宝庫

カルスト台地に奇跡的に残された湿原があります。というのもカルスト地形は雨などによって溶かされた石灰岩帯から成り、水は地表を流れることなく岩を侵食しながら地下へ流れるためです。こうして地下に鍾乳洞ができるわけですが、広谷では水に溶けにくい花崗岩が天然のダムようになり、地下水を堰き止めたり、旧河川痕が三日月湖的に地表に取り残されることで奇跡的に湿原が維持されました。

保全管理の不備や天災により一時減少していた湿原は関係者の努力により回復しつつあります。ノハナショウブ、タニガワスゲ、エゾアブラガヤ、ヒメオトギリ、コケオトギリ、イヌセンブリ、トキソウなどの希少種を含む様々な湿生植物が生育しています。

湿地名『北九州市若松区周辺の溜池群および響灘ビオトープ』

湿地名『奥畑川河口および大積干潟』
69号で紹介してるよ

湿地名『曾根干潟』
67号で紹介してるよ

湿地名『遠賀川水系の河川および水路』
67号で紹介してるよ

湿地名『お糸池』
・市町村名:北九州市(小倉南区呼野)
・生物分類群:ガシャモク
・選定基準:基準2に該当
(希少種の生息)

湿地名『広谷湿原(平尾台カルスト内)』
・市町村名:北九州市,行橋市,京都郡刈田町
・生物分類群:湿原植生
・選定基準:基準1、2に該当
(カルスト台地上の旧河川上に形成された中間湿原要素の種が生育)

訂正とお詫び:
67号,69号で広谷湿原とするところを広谷湿地としておりました。お詫びして訂正します。

画像提供 平尾台自然観察センター